

堀岡敏喜 議員



高齢者の所在確認業務の実態はどうか

問

福祉について聞く。

(1) うつ病やひきこもりなど、実態を把握しているか。

また4月より、認知行動療法に健康保険が適用された。どこで受診できるか、情報周知すべきではないか。

(2) 児童虐待への認識と今後の取り組み、また虐待の報告や実態はあるのか。

(3) 高齢者所在確認業務の実態はどうか。

(4) 地域福祉計画策定の市の現状はどうか。

一人暮らしの居宅を訪問した

答 健康推進課長

(1) 有病者数を掌握することとは非常に困難だが、うつ病の精神通院医療を受ける

人は240人ほどいる。

9月にリーフレットを全戸配布し、うつ病から自殺を防止する啓発をした。

認知行動療法は、過去に海南病院に照会したが、行っていないかった。(実施機関が少なく)病院の紹介等は難しいと考えている。

答 児童課長

(2) 市では18年に要保護児童対策地域協議会を設置し、県、警察等の関係機関と情報を共有し、児童保護の仕組みをつくっている。情報があった場合は、48時間以内の目視確認に努めている。

(要保護対象となつたケースは)7月末現在で19件である。

7、8月に行われたエコきッズ調査隊



7、8月に行われたエコきッズ調査隊

答 介護高齢課長

(3) 数え年100歳以上の19人は、介護保険利用状況等で所在を確認済みである。

65歳以上の一人暮らし高齢者は、毎年6月に民生委員の協力で居宅を訪問し、所在は確認済みである。

答 民生部長

(4) この計画は各自治体が主体的に取り組みこととなっている。

23年度に策定する障害者計画・高齢者福祉計画の中に、地域福祉計画の内容を盛り込んだ計画を策定し、その後必要に応じて策定の検討をしていきたい。

青少年の自然体験学習充実を

問

青少年健全育成の今後の取り組みについて聞く。

(1) 海外体験・留学支援策
(2) 農山漁村体験プロジェクトのような自然体験学習

各種実施中で拡充の考えはない

答 教育部長

(1) 現在は実施していない。各種教室や講座を開催し、青少年の活動機会の充実に努めているところである。

(2) 自然体験学習はエコキッズ調査隊等で学習機会を提供し、小中学校では宿泊を伴う体験学習、稲作、穀物栽培など、特色に応じた取り組みを実施している。

現在拡充は考えてはいないが、今後は必要が生じたときに適宜見直し、児童生徒の学習力向上に努めたい。